



小暮ひろし市議会報告

発行者 小暮 博志

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地

TEL・FAX 0283-23-8263

E-mail kogurehi@sctv.jp

紙面

今後の活動方針

平成21年第2回 臨時議会（5月12日）

平成21年第3回 臨時議会（5月29日）

平成21年第4回 6月定例議会（5日～19日）

小暮ひろしの一般質問

初めての6月定例議会後の感想

今後の活動方針

この度、4月12日の選挙におきまして、皆様方の温かいご支援によりまして、議会に送って頂き心よりお礼を申し上げます。この初心を忘れず、掲げました行動基準を座右之銘として活動してゆきたいと思っておりますので、今後とも、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

又、何かご意見等ございましたら電話やメール等でご連絡頂けたら有りがたいと思っております。

一 行動基準

- ・ 合併後の、住みよい街づくり
- ・ 市民の声が届く、街づくり
- ・ 安全で、環境のよい街づくり

- ・ 経済文教常任委員会：◎飯田昌弘 ○井川克彦
青木栄吉 蓼沼一弘 鶴見義明
藤倉義雄 義本美智江
- ・ 建設常任委員会：◎篠原一世 ○金子保利
荒居 聡 内田清美 高橋 功
寺内富士夫 山越密雄
- ・ 議会運営委員会：◎山菅直己 ○春山敏明
荒井仁市 大川圭吾 岡村恵子
亀田 清 高橋 功 林 敬忠
本郷淳一

◎委員長

○副委員長

- ・ 佐野地区広域消防組合議会議員：7人
- ・ 佐野地区衛生施設組合議会議員：6人
- ・ 栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員：2人

その他、議員には審議会委員や充て職の委員の各種委員会が24ほどありあります。これらは、議員の中から推薦で選任されています。

小暮ひろしは、

環境審議会委員、

国民健康保険運営協議会委員、

民生委員推薦委員、

高齢者保健福祉推進委員会・介護保険事業推進委員会・地域密着型サービス運営委員会委員に推薦されました。

住みよい佐野市をめざして、頑張りたいと思います。

～ ご説明 ～

常任委員会は、議会が事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行わせるための委員会です。議会の予備的審査機関となっています。

専決処分事項とは、議会が議決しなければならない条例・予算などについて、市長が招集する暇がない緊急の場合に、市長が議会に代わって処理又は委任の処理案件。この場合、次の議会で承認を求める必要があります。

第3回 臨時議会（5月29日）

第3回臨時議会では、佐野市職員の給与に関する条例等の改正と市長の専決処分事項報告が行われました。

人事院は、5月1日、国会及び内閣に対し、国家公務員の期末・勤勉手当等に関し勧告を行い、6月期合計で2.15月から1.95月（約マイナス9.3%）に下げることが示された。そこで、佐野市職員の給与に関する条例等の改正案が議会に示され、一般職は2.15月から1.95月（約マイナス9.3%）に、特別職、教育長、議員は1.6月から1.45月（約マイナス9.4%）に引き下げられました。

第2回 臨時議会（5月12日）

第2回臨時議会では、下記の、5つの選挙、各種委員の推薦と市長の専決処分事項報告が行われました。

- ・ 議長の選挙
- ・ 副議長の選挙
- ・ 常任委員及び議会運営委員の選任
- ・ 佐野地区広域消防組合議会議員の選挙
- ・ 佐野地区衛生施設組合議会議員の選挙
- ・ 栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

議員による選挙で、次の様に、議長に笠原敏夫氏、副議長に蓼沼一弘氏が28票中の25票を獲得して選出されました。

小暮ひろしは、

厚生常任委員会の副委員長に選任、

佐野地区広域消防組合議会議員に選出されました。

責務に一生懸命励んでゆきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

- ・ 議長：笠原敏夫
- ・ 副議長：蓼沼一弘
- ・ 総務常任委員会：◎林 敬忠 ○鈴木靖宏
荒井仁市 岩崎俊道 大川圭吾
山菅直己 若田部治彦
- ・ 厚生常任委員会：◎本郷淳一 ○小暮博志
岡村恵子 笠原敏夫 亀田 清
春山敏明 山口 孝

第4回 6月定例議会(5日～19日)

第4回 6月定例議会では、岡部市長の施政方針演説とそれに対する会派代表6名(亀田清、岩崎俊道、若田部治彦、鶴見義明、金子保利、寺内富士夫)による質疑、議員16名による一般質問、常任委員会による議案の審査の経過とその結果報告等が行われました。(私も、3番目に3つの一般質問をさせて頂きました。)

岡部市長の施政方針演説では、4月の市長選挙のマニフェストで示した、4つのテーマについて説明されました。

- 1 点目は「安心して安全に暮らせる佐野づくり」、
- 2 点目は「子どもの未来が輝く佐野づくり」、
- 3 点目は「県南の中核都市にふさわしい活力ある佐野づくり」、
- 4 点目は「自然と環境にやさしい佐野づくり」です。

これらの項目の内容を説明され、市民の皆様との「協働」で各種の施策を進めて行きたいと述べられました。

(感想) 特に重点を置いて行う内容とその必要性についてもう少し説明して頂けたら一層の説得力があったと思いました。

次に、一般質問ですが、以下の議員16名が順番に行政の内容について質問を行いました。

一般質問(6月9日):

- 1 番目 飯田昌弘 2 番目 山口 孝 3 番目 小暮博志
4 番目 内田清美 5 番目 義本美智江 6 番目 鶴見義明

一般質問(6月10日):

- 7 番目 荒居 聡 8 番目 若田部治彦 9 番目 井川克彦
10 番目 春山敏明 11 番目 寺内富士夫

一般質問(6月11日):

- 12 番目 大川圭吾 13 番目 本郷淳一 14 番目 岡村恵子
15 番目 藤倉義雄 16 番目 荒井仁市

一般質問内容は54件ほどありました。大きく分類して見ますと以下の様になっておりました。今、建設が進んでいる北関東道路とそのインターチェンジや市営バス関係が約27%と多く、次に、景気低迷に関係した市の財政や経済対策関係が約25%と多くあり、市当局への質問がなされました。その他の内容として、介護保険料、生活保障、地球温暖化防止、市民病院、インフルエンザ対策、教育関係等の質問と回答がなされました。市政を市民の方に向けて頂くためにも、一般質問の大切さを痛感したしだいです。

(1)北関東道路、市営バス関係	約27%
(2)市の財政、経済活性化関係	約25%
(3)医療制度、国民年金、国民健康保険関係	約13%
(4)環境保全、地球温暖化防止関係	約12%
(5)市民病院、インフルエンザ対策関係	約12%

*** 小暮ひろしの一般質問 ***

1 財政コスト低減の取組について

佐野市と田沼町、葛生町が対等合併して新しい佐野市が誕生し、はや4年が経過しているわけでありまして。しかし、合併によるメリットに上げられている『行財政の効率化』という点を見ますと、まだ成果が出ていない様に見受けられます。具体的に、近隣の足利市及び栃木市と佐野市で市民1人当たりの行政コストを比較して見ますと、平成18年と平成19年とも佐野市は約1.1倍になっております。人件費だけを見ますと、平成18年が約1.18倍、平成19年が約1.38倍になっておりました。今後の見通しについて伺いました。

(答弁) 佐野市定員適正化計画を立てて推進中であり、平成27年には下がる計画との事です。

(感想) 平成の合併により、全国では1999年に3232あった市町村が約54%に減り、2010年3月には1760ほどに



なるとのことであります。合併によりまして、当然、利点と欠点が発生する訳であります。利点として幾つかありまして、

- (1) 『住民生活の利便性の向上』で、窓口サービスの拡大や各種公共施設の利用拡大等であります。
- (2) 『行財政の効率化』で、行政サービスの向上を図りつつ経費も下がると言うことであります。
- (3) 『行政サービスの高度化・専門化』で、質のよいサービスが受けられることや『大型事業の実現』等であります。

欠点としては、『中心部と周辺部との格差の拡大』することや、『役所等への距離が遠くなり、不便になる』等であります。

今後とも、利点を実感できる様に頑張りたいと思います。

2 佐野市環境基本計画に関して

1997年に議決されました『京都議定書』によって、温室効果ガス排出量を2008年から2012年までの期間中に、日本は基準年である1990年に比べて6%削減すると定められました。しかし、2006年の日本は、基準年に比較し逆に6.2%増加しているとのことであります。家庭部門をみますと、基準年に比較し30%も増加しているとのことであります。5月29日の日本経済新聞によりますと、温室効果ガス排出量の削減を計らないと、海面上昇や豪雨による被害が増加し、全国の土砂災害も年間1兆円規模になることを報道しております。佐野市の状況について伺いました。

(答弁) 佐野市におきましては、庁舎における温室効果ガスの排出量を2006年から2011年に約4%削減する計画になっております。

(感想) 佐野市も削減計画になっているが、基準年に差があり、1990年レベルで見る必要を感じました。

3 佐野市下水道全体計画に関して

私の子供の頃の旧秋山川は、水もきれいな川でして、シジミも取れ、川で水浴びをしたり、魚を取った思い出のある川です。しかし、今ではヘドロが溜まり、悪臭もします。鯉がヘドロを巻き上げ泳いでいます。佐野市公共下水道全体計画に秋山川処理区(高山町)が記載されておりますが、長期計画が有るか伺いました。

(答弁) まだ、公共下水道全体計画で計画はされておられません。

(感想) 旧秋山川の河川浄化には、私たち一人一人が意識改革をし浄化のための努力の必要性を感じました。

初めての6月定例議会後の感想

今、新たに議員の責任の重さを感じている所です。

議員の仕事は、行政をチェックするとともに、市民の意見を広く聞き、行政に反映する事と思っております。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。